



平成 21 年 5 月 15 日  
大阪市中央区農人橋 1 丁目 1 番 22 号  
大江ビル 9 階  
株式会社エルクコーポレーション  
代表取締役社長 松本 啓二  
(コード番号 9833 大証第 2 部)

## News Release

**新型全自動散薬分割分包機『E-FAS』の販売開始**  
**業界初の薬剤投入トリプルホッパーを採用！！「高速配分」&「高精度」の93包型の**  
**全自動散薬分割分包機を開発、販売開始致します**

株式会社エルクコーポレーション(本社:大阪府大阪市中央区)は、子会社の株式会社エルクエスト(本社:千葉県富里市)と共同で、93包型の全自動散薬分割分包機を開発、販売開始することをお知らせ致します。

### ■製品開発の背景

近年、政府の方針である長期投薬解禁施策を受けて、長期処方が増加してきております。又、2008 年度の診療報酬改定により、「在宅患者訪問薬剤管理指導料」の対象範囲が居宅療養患者だけでなく、居住系施設(養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅等)も含まれる事となり、在宅訪問調剤が増加してきております。

これらの状況を踏まえ、従来の中・小型分包機市場だけでなく、大型分包機市場への展開は当社にとって大きなビジネスチャンスであると捉え、開発に着手、販売する事となりました。

新型全自動散薬分割分包機『E-FAS』は、分包機を機能中心の視点から、作業効率重視の視点で開発され、既存の分包機には困難であった「高速配分」と「高精度」の両立を実現し、増加する長期処方の調剤業務の効率化を実現致します。

### ■製品の特徴

#### 【高速配分 & 高精度】

調剤薬局における調剤業務において、分包トータル時間は「薬剤の配分時間」と「分包時間」の合計で表される為、分包機の分包速度を高速化しても、多くの時間を要する「薬剤の配分時間」を短縮できなければ、分包トータル時間の大幅短縮は望めません。加えて、「薬剤の配分時間」の短縮には、ある程度精度を犠牲にしなければならないというジレンマがありました。

そこでこれらの問題を解決する為、散薬ホッパーの高速逆回転という新発想で、R円盤との相対速度を上げることにより、配分時間を従来の約 1/2(当社従来機比)を実現しました。

又、「分包精度の向上」と「配分時間の短縮」の相反する要素を克服し、高精度を維持しながら分包トータル時間を飛躍的に向上させました。

### 【トリプルホッパー】

業界で初めて散薬投入ホッパーを分包機に3個搭載しました。(従来、散薬投入ホッパーは最多で2個が常識)調剤薬局における調剤業務において、2種以下の混合分包の割合は72%(当社調べ)、残りの3割弱は1回目の配分が終了した後に再度配分が必要であった為、トータル配分時間は非常に長くなる事が課題でした。

E-FASは3個の散薬投入ホッパーを備えていますので、3種以下の混合分包が1回で済みます。1種から3種混合まで分包の割合は85%の処方箋をカバーしますので、調剤業務効率の向上に大きく寄与致します。

### 【スライディングアクセス】

消耗品の交換、清掃、メンテナンス等で使用するシールユニットは、調剤台の引出寸法とほぼ同じ40cm手前に引出せる仕様になっています。更に装着面も斜め45度上向きとなっているため、分包紙やインクリボンの交換作業・清掃等を楽な姿勢で行えるように配慮しています。



### ■今後の展開

当社は、これまで分包機の開発・販売により培ったノウハウを踏まえ、顧客である調剤薬局に対して、精度向上と分包作業時間の短縮を実現する機器として『E-FAS』を提案してまいります。又、この優れた新型分包機を開発した事を機会と捉え、当社初の大型分包機として積極的な新規顧客開拓に取り組んでまいります。

## 新型全自動散薬分割分包機『E-FAS』

- 受注開始：2009年5月21日(金)
- 出荷開始：2009年6月1日(月)
- 販売目標：売上10億円(発売開始後1年間)

### **【本件に関するお問合せ先】**

#### ■お客様からのお問合せは

営業統括本部 開発・マーケティング部 ヘルスケア担当部長 村上、植木

TEL 03-3814-8229 FAX 03-3814-9807

#### ■報道関係の方からのお問合せは

経営企画室 藤井、小黒、斉藤

TEL 06-6942-4691 FAX 06-6942-0871

E-mail: [info@elkc.co.jp](mailto:info@elkc.co.jp)